

教育研究業績書

2016年10月01日

所属：建築学科

資格：講師

氏名：田中 明

研究分野	研究内容のキーワード
建築文化論、建築設計、建築史	場所、風景、制作、歴史
学位	最終学歴
博士（工学）、修士（工学）、学士（工学）	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻 博士後期課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 実物大モックアップ制作を通じた演習	2011年6月-現在	大学院設計演習において実物大モックアップ制作を行う。制作では品質管理、工程管理、安全管理等の指導と観察を徹底するが、全体的な方針は学生主体を旨とする。モックアップ作成後はミーティングを通じて問題点を議論し、制作における問題解決に対する実践的資質の養成を意図する。
2. 設計演習・空間表現演習授業における成果物の展示	2011年5月-現在	建築学科学部2年次以上の設計演習授業において、全学生の成果物を建築スタジオに展示する。建築学科学部1年生演習においては制作した造形作品のうち、優れたものを甲子園会館に展示する。建築意匠に対する学生の意識向上を主目的とする。
3. 教員による設計演習課題の実践	2011年5月-現在	設計演習において教員自ら演習課題に取り組む。設計条件や意匠的提案など課題における問題点を学生と共有することで、具体的に的確な指導を行う。
4. スライド中心の講義を補充する授業内容	2011年5月-現在	日本建築史等講義においては筆記の能力向上が必須で、スライドや配付資料を中心としたビジュアルで口伝的な講義では限界がある。そうした講義においては教科書への付箋やアンダーライン、書き込み等、教科書のノート化への指導を行う。また板書を行い、未記入資料への書き込みや手書きレポート課題などを課している。
5. 講義における小テストと前回授業復習の実施	2011年5月-現在	講義科目において授業冒頭で小テストを行い、その後ある程度の時間をかけて前回授業の復習を行う。小テストは自宅等における学生の自発的復習を意図し、多面的に授業内容の定着を図ろうとする。
6. 学外作品展の指導	2010年9月-現在	特別学期授業において学科作品展を西宮市内のギャラリーにおいて企画する。運営の指導、監督、助言を行うが学生の主体性を尊重する。学生の企画力、統率力、積極性の向上を図るとともに、就職活動その他に向けたポートフォリオ作成の一助とする。
7. 講義・演習科目と積極的関連を与えた学外授業	2010年4月-現在	「フィールドワーク IA・IB・II B・III A・VA」では講義中に示された建築物見学や設計演習における敷地見学など、学内での授業内容と密接に関連させることで、実見を通じた知見の獲得を行う。
2 作成した教科書、教材		
1. 武庫川女子大学建築学科平成26年度学部生「海外研修」	2014年7月～9月	「海外研修」授業に際してレポートフォーマットの作成および概要説明PowerPointの作成
2. 武庫川女子大学建築学科平成26年度学部1年生「日本建築史」	2014年4月-8月	日本建築史授業において使用する教科書および図集をまとめたレジュメとPowerPointの作成
3. 武庫川女子大学大学院建築学専攻平成26年度修士1年生「建築設計総合演習I」	2014年4月-5月	課題1「光による空間構成」における課題説明および参考資料の作成
4. 武庫川女子大学建築学科平成26年度学部1年生「フィールドワークIA」	2014年4月-8月	「法隆寺、法起寺」「醍醐寺、法界寺」の説明書を作成
5. 武庫川女子大学建築学科平成25年度学部1年生「空間表現演習II」	2013年9月-2014年1月	空間表現演習授業において使用するレジュメとPowerPointの作成、および教員実践による参考作品の制作
6. 武庫川女子大学建築学科平成25年度学部1年生「図学・情報基礎演習II」	2013年9月-2014年1月	図学・情報授業において使用するレジュメとPowerPointの作成
7. 武庫川女子大学建築学科平成25年度学部2年生「CAD・CG応用演習I」	2013年5月-6月	CAD・CG授業において使用するレジュメとPowerPointの作成
8. 武庫川女子大学建築学科平成25年度学部1年生「日本建築史」	2013年4月-7月	日本建築史授業において使用する教科書および図集をまとめたレジュメとPowerPointの作成
9. 武庫川女子大学建築学科平成25年度学部1年生「初期演習」	2013年4月-2014年1月	初期演習授業において使用するレジュメとPowerPointの作成
10. 武庫川女子大学建築学科平成25年度学部1年生「図学・情報基礎演習I」	2013年4月-5月	図学・情報授業において使用するレジュメとPowerPointの作成
11. 武庫川女子大学建築学科平成25年度学部1年生「空間表現演習I」	2013年4月-5月	空間表現演習授業において使用するレジュメとPowerPointの作成、および教員実践による参考作品の制作
12. 武庫川女子大学建築学科平成25年度学部1年生「フィールドワークIA」	2013年4月-7月	「法隆寺、法起寺」「醍醐寺、法界寺」「住吉大社」「平等院、宇治上神社」「慈照寺東求堂、大覚寺」「東大寺、興福寺」「藪内家、西本願寺」「彦根城、御上神社、日吉大社」の説明書を作成

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
13. 武庫川女子大学大学院建築学専攻平成25年度修士1年「建築設計論Ⅱ」 14. 武庫川女子大学建築学科平成25年度学部1年生「フィールドワークIB」 15. 武庫川女子大学建築学科平成24年度学部1年生「空間表現応用演習」 16. 武庫川女子大学大学院建築学専攻平成24年度修士1年「建築設計論Ⅱ」 17. 武庫川女子大学建築学科平成24年度学部1年生「図学・CAD基礎基礎演習Ⅱ」 18. 武庫川女子大学大学院建築学専攻平成24年度修士1年生「フィールドワークVA」 19. 武庫川女子大学大学院建築学専攻平成24年度修士1年生「建築設計総合演習Ⅰ」 20. 武庫川女子大学建築学科平成24年度学部1年生「日本建築史」 21. 武庫川女子大学建築学科平成24年度学部1年生「図学・CAD基礎演習Ⅰ」 22. 武庫川女子大学建築学科平成24年度学部1年生「建築情報基礎演習」 23. 武庫川女子大学建築学科平成24年度学部2年生「CAD・CG応用演習Ⅰ」 24. 武庫川女子大学建築学科平成24年度学部1年生「フィールドワークIA」 25. 武庫川女子大学建築学科平成24年度学部1年生「空間表現基礎演習」 26. 武庫川女子大学建築学科平成24年度学部1年生「フィールドワークIB」 27. 武庫川女子大学建築学科平成24年度学部2年生「CAD・CG応用演習Ⅱ」 28. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部1年生「フィールドワークIIB」 29. 武庫川女子大学大学院建築学専攻平成23年度修士1年「建築設計論Ⅱ」 30. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部2年生「建築設計演習Ⅱ」 31. 武庫川女子大学大学院建築学専攻平成23年度修士1年生「フィールドワークVA」 32. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部1年生「図学・CAD基礎演習」 33. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部1年生「建築情報基礎演習」 34. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部1年生「フィールドワークIA」 35. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部1年生「日本建築史」 36. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部2年生「建築設計演習Ⅰ」 37. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部2年生「CAD・CG応用演習Ⅰ」 38. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部1年生「空間表現基礎演習」 39. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部2年生「フィールドワークIIA」 40. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部1年生「空間表現応用演習」 41. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部1年生「フィールドワークIB」 42. 武庫川女子大学建築学科平成23年度学部1年生「図学・CAD基礎演習Ⅱ」 43. 武庫川女子大学建築学科平成22年度学部2年生「CAD・CG応用演習Ⅱ」 44. 武庫川女子大学建築学科平成22年度学部1年生「日本建築史」	2013年11月 2013年11月-12月 2012年9月-11月 2012年9月-10月 2012年9月-2013年1月 2012年8月 2012年6月-7月 2012年6月-7月 2012年5月-8月 2012年5月-8月 2012年5月-6月 2012年4月-6月 2012年4月-5月 2012年11月 2012年11月-2013年1月 2011年9月-10月 2011年9月-10月 2011年9月-10月 2011年7月 2011年6月-7月 2011年6月-7月 2011年6月-7月 2011年5月-7月 2011年5月-6月 2011年4月-6月 2011年4月-7月 2011年4月-6月 2011年10月-11月 2011年10月 2011年10月-2012年1月 2010年9月-2011年1月 2010年6月-7月	建築設計論Ⅱ授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 「甲山」「浄瑠璃寺、新薬師寺」「石山寺、比叡山延暦寺」の説明書を作成 空間表現演習授業において使用するレジュメとPowerPointの作成、および教員実践による参考作品の制作 建築設計論Ⅱ授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 図学・CAD授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 「修学院離宮」の説明書を作成 課題3「膜とスペースフレームによる空間構成」における課題説明および参考資料の作成、および教員実践による参考作品の制作 日本建築史授業において使用する教科書および図集をまとめたレジュメとPowerPointの作成 図学・CAD授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 情報授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 CAD・CG授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 「法隆寺、法起寺、唐招提寺」「東大寺、興福寺」「竹中大工道具館、神戸メリケンパークホテルアクアホール」「醍醐寺、法界寺」「慈照寺東求堂、大覚寺」の説明書を作成 空間表現演習授業において使用するレジュメとPowerPointの作成、および教員実践による参考作品の制作 「国立民族学博物館」の説明書を作成 CAD・CG授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 「大文字山敷地見学」「浄瑠璃寺、新薬師寺、室生寺」「石山寺、比叡山延暦寺」の説明書を作成 建築設計論Ⅱ授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 課題1「祈りの空間」における課題説明および参考資料の作成、および教員実践による参考作品の制作 「四天王寺悲田院高齢者福祉施設」の説明書を作成 図学・CAD授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 情報授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 「慈照寺東求堂、大覚寺、天竜寺」「姫路城大天守保存修理、浄土寺」の説明書を作成 日本建築史授業において使用する教科書および図集をまとめたレジュメとPowerPointの作成 建築設計演習授業において使用するレジュメとPowerPointの作成、および教員実践による参考作品の制作 CAD・CG授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 空間表現演習授業において使用するレジュメとPowerPointの作成、および教員実践による参考作品の制作 「三田の木造住宅建て方、芦屋の木造モデル住宅」「篠山の木造住宅」「廣誠院、円通寺、詩仙堂」「白鹿酒造館」「大阪コラボレーションショールーム」の説明書を作成 空間表現演習授業におけるよび教員実践による参考作品の制作 「大阪高島屋、なんばパークス」の説明書を作成 図学・情報授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 CAD・CG授業において使用するレジュメとPowerPointの作成 日本建築史授業において使用する教科書および図集をまとめたレジュメとPowerPointの作成。

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
45. 武庫川女子大学建築学科平成22年度学部3年生「フィールドワークIIIA」	2010年6月	「即日設計」の説明書を作成
46. 武庫川女子大学建築学科平成22年度学部1年生「フィールドワークIA」	2010年5月	「醍醐寺、法界寺」の説明書を作成
47. 武庫川女子大学建築学科平成22年度学部2年生「フィールドワークIIA」	2010年5月-6月	「CADを活用した透視図の作成」「円通寺、詩仙堂、曼殊院、旧有栖川宮邸、平安女学院明治館」「二条城、無鄰菴」の説明書を作成
48. 武庫川女子大学建築学科平成22年度学部2年生「CAD・CG応用演習I」	2010年4月-6月	CAD・CG授業において使用するレジュメとPowerPointの作成
49. 武庫川女子大学大学院建築学専攻平成22年度修士1年「建築設計論II」	2010年12月	建築設計論II授業において使用するレジュメとPowerPointの作成
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. iaSU2016国際会議企画における奈良古建築の専門的解説および引率	2016年07月18日	18名の外国人ゲストに対して法隆寺（南大門、金堂、五重塔、講堂、夢殿）および東大寺（南大門、大仏殿、法華堂、二月堂）についての専門的建築案内を行った。
2. 兵庫県立伊丹高等学校における模擬授業	2015年9月17日	兵庫県立伊丹高等学校における高校2年生を対象とした模擬授業
3. 武庫川学院高大連携事業における出張講義	2013年2月5日	武庫川女子大学附属高校2年生に対し建築学の基礎的概観の講義を行った
4. NHKエデュケーショナル「天上の王朝美 京都・修学院離宮」制作における取材協力	2011年9月25日-2012年1月3日	NHK総合にて放送(2012年1月3日)された特別番組制作に対する知見の提供
5. 附属高校SSH生徒へのフィールドワーク授業の実施	2011年9月24日	建築文化への理解と関心を深めるための奈良寺院建築への見学授業の実施
6. 附属高校SSH生徒への卒業研究指導	2011年5月27日2012年2月4日	附属高校SSH生徒の卒業研究指導として、中高キャンパスのCAD化および建築設計の指導
7. 附属高校SSH生徒へのフィールドワーク授業の実施	2010年7月10日	建築文化への理解と関心を深めるための奈良寺院建築への見学授業の実施
8. シンポジウム対談「建築作品の生成を考える」司会	2006年12月22日	科学研究費助成事業<20世紀の建築作品における生成論的研究>中間報告シンポジウムの司会
4 その他		
1. 「H28 建築学科作品展・卒業設計展」企画、運営	2016年4月-現在	西宮市民ギャラリーにおける演習課題作品の展示企画の指導。平常時における学生の演習課題に対する意欲向上を意図とする
2. 武庫川女子大学建築学科建築学専攻作品集 2015	2016年3月2016年4月	武庫川女子大学建築学科、大学院建築学専攻の作品集制作
3. 「H27 建築学科作品展・卒業設計展」企画、運営	2015年4月-2016年2月	西宮市民ギャラリーにおける演習課題作品の展示企画の指導。平常時における学生の演習課題に対する意欲向上を意図とする
4. 武庫川女子大学建築学科建築学専攻作品集 2014	2015年3月~2015年4月	武庫川女子大学建築学科、大学院建築学専攻の作品集制作
5. 「H26 建築学科作品展・卒業設計展」企画、運営	2014年7月-2015年2月	西宮市民ギャラリーにおける演習課題作品の展示企画の指導。平常時における学生の演習課題に対する意欲向上を意図とする
6. 「H25 建築学科作品展・卒業設計展」企画、運営	2014年2月18日-2014年2月23日	西宮市民ギャラリーにおける演習課題作品の展示企画の指導。平常時における学生の演習課題に対する意欲向上を意図とする
7. 武庫川女子大学建築学科建築学専攻作品集 2013	2014年10月~現在	武庫川女子大学建築学科、大学院建築学専攻の作品集制作
8. 「H24 建築学科作品展・卒業設計展」企画、運営	2013年2月19日-2013年2月24日	西宮市民ギャラリーにおける演習課題作品の展示企画の指導。平常時における学生の演習課題に対する意欲向上を意図とする
9. 武庫川女子大学建築学科建築学専攻作品集 2012	2013年10月2014年7月	武庫川女子大学建築学科、大学院建築学専攻の作品集制作
10. 「H23 建築学科作品展・卒業設計展」企画、運営	2012年2月28日-2012年3月4日	西宮市民ギャラリーにおける演習課題作品の展示企画の指導。平常時における学生の演習課題に対する意欲向上を意図とする
11. 「甲子園会館の音楽會」第14回武庫川オペラ舞台装置制作	2012年12月-2014年2月23日	音楽学部、健康・スポーツ科学部、生活環境学部生活環境学科、建築学科の連携企画によるオペラ制作。舞台装置設計を担当し、学生有志とともに制作を行った。実践的な制作活動を通して、学生の修学意欲向上を図る
12. 「H22 建築学科作品展・卒業設計展」企画、運営	2011年2月15日-2011年2月27日	西宮北口ギャラリーおよび西宮市民ギャラリーにおける演習課題作品の展示企画の指導。平常時における学生の演習課題に対する意欲向上を意図とする
13. 芝浦工業大学建築工学科「建築設計2」	2009年9月-2010年3月	芝浦工業大学建築工学科にて非常勤講師として「建築設計2」演習授業を共同担当
14. 芝浦工業大学「モスクワ建築大学交換留学」授業	2003年9月	芝浦工業大学にて交換留学プログラム（ロシア・モスクワ建築大学）授業アシスタント
15. 芝浦工業大学「ラクイラ大学交換留学」授業	2003年5月	芝浦工業大学にて交換留学プログラム（イタリア・ラクイラ大学）授業アシスタント

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 本学主催の国際会議における出版委員会委員	2011年10月2012年8月	2nd International Conference on Archi-Cultural Translations through the Silk Road における会議録および論文集の出版委員会委員
2. 本学主催の国際会議における運営委員会委員	2011年10月2012年8月	2nd International Conference on Archi-Cultural Translations through the Silk Road 運営における委員会委員
3. 本学主催の国際会議における組織委員会委員	2011年10月2012年8月	2nd International Conference on Archi-Cultural Translations through the Silk Road 主催における委員会委員
4. 本学建築・都市デザインスタジオ研究員	2010年4月	本学建築・都市デザインスタジオにおける実務および研究業務

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 建築制作論の研究	共	2016年2月12日	中央公論美術出版	「建築をつくること」について、その理念を原理的・総合的に問い直す論考集において制作における見ることとして「修学院離宮の創設と後水尾院の御幸」を担当。建築論研究会（西垣安比古）編
2. 日本風景史	共	2015年2月27日	株式会社昭和堂	日本の風景を通史的に取り扱い、空間の意味や理念、各時代の典型的風景について論述したもの。第5章「近世の離宮」を担当。
2 学位論文				
1. 修学院離宮創設の建築論的研究	単	2008年03月	京都大学大学院工学研究科建築学専攻	日本の近世初期に建てられた修学院離宮について、そこでの遊興や風景、出来事などを検証することで建築の場所解明を行った。近世期において修学院離宮について書かれた上皇による詩歌、御幸記、日記類を一次史料とし、他にも記録類や批評文なども考察の対象とした。近世期に御幸を行った後水尾上皇、霊元上皇、光格上皇それぞれの御幸を分析し、遊興の相異点を明確にするほか、修学院離宮内における施設の使用状況に新たな知見を与えた。
3 学術論文				
1. On the Experience of History at the Wang River Villa of Wang Wei 「(査読付)」	単	2016年07月16日	4th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road, pp141-143	唐代詩人王維による漢詩2題を解説し、その詩中に建築的場所における歴史の経験について考察をする。経験者は風景の永遠性に触れ「空悲」「惆悵」などが鍵語となり、主体性の喪失が普遍的経験として感得されている。
2. 修学院離宮御幸と<日常>の反省—建築における相伝の風景—(査読なし)	単	2015年3月31日	北陸宗教文化、北陸宗教文化学会	平成26年に行われたシンポジウム<「住む」ことをめぐって>に際して改めて書き下ろした論考。修学院離宮において詠まれたいくつもの詩を概観し「住まい」あり様を見出そうとするもの
3. A Study of the Landscape at the Wang River Villa through Analysis of the Poem "Deer Park" by Wang Wei 「(査読付)」	単	2013年3月	Archi-Cultural Translation through the Silk Road (selected papers), Mukogawa Women's University Press, 2013, pp. 257-262	国際シンポジウム「2nd International Conference on Archi-Cultural Translation through the Silk Road」の論文集。盛唐の詩人王維によるモウ川別業の風景について詩集『モウ川集』の解説により考察を行った。本稿では特に「鹿柴」詩をとりあげ、その論考や海外語訳を比較考察した。そこでは「鹿柴」詩の特徴である無人の風景が消極的な不在ではなく、彼の仏教徒的思想に裏付けされた積極的な「人間以前の風景」であったと指摘を行った。
4. A Study of the Classical Landscape at the Wang River Villa of Wang Wei 「(査読付)」	単	2012年3月	Intercultural Understanding Vol.2. Institute of Turkish Culture Studies Mukogawa Women's University, 2012, pp. 53-57	トルコ文化研究センター紀要。王維によるモウ川別業の建築的風景についての考察。本稿では特に『モウ川集』における古典詩の引用に注目し、それらの論考を比較考察した。古典の引用を現実逃避的な王維による観念の描写との指摘もあるが、むしろ自然を「畏怖の対象」から「美的対象」へと変質させた仏教徒、ならびに自然詩人の系譜を王維が意識したとする論に注目した。建築における風景の根底に制作者の思想が介在する可能性について考察を行った。
5. Leisure Activities at the Imperial Villas of Japan in the Early Modern Age 「(査読付)」	単	2011年7月	Archi-Cultural Translations through the Silk Road, Bahcesehir University Press, 2011, pp. 66-74	国際シンポジウム「International Conference on Archi-Cultural Translation through the Silk Road」終了後に刊行された論文集。本稿では日本の近世期に営まれた上皇による離宮（修学院離宮、河原離宮）をとりあげて、そこでの遊興について検証することで、近世期離宮建築の特徴について一考察を行

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
6. Leisure Activities at the Kawa ra Imperial Villa of Retired E mpress Meisho: Through Compari son with the Shugakuin Imperia l Villa 「(査読付)」	単	2011年03月	Intercultural Underst anding, Institute of Turkish Culture Studi es Mukogawa Women' s University, 2011, pp. 73-77	った。遊興には市井の再現や散策、遠見など多くの 種類が確認された。それらは所有者の趣向や、所在 地の特徴などにもとづいて多くの相異点が見られた が、日常性の逸脱という点において共通した。 トルコ文化研究センター紀要。現存しない河原離宮 について特にその遊興から建築的特徴を考察した。 『无上法院殿御日記』などを根拠とする全25回の御 幸において河原離宮の経営者である明正上皇は「演 じられた田植えの見学」「鴨川における漁の見学」 「模擬店など市井の再現」「源融による文学的風景 の再現」など多くの遊興を行った。修学院離宮にお ける遊興と比較すると河原離宮における傾向は比較 的虚構の遊興を多く含む。離宮内にはそうした遊興 を受け入れる施設が多く確認された。
7. 詩歌によむ修学院離宮の構成と野 山：修学院八景詩歌、十境詩の解 読を通して 「(査読付)」	単	2008年06月	日本建築学会計画系論 文集、第73巻、第628号 、pp. 1379-1386、日 本建築学会	日本建築学会論文集。唯一現存する近世初期離宮建 築である修学院離宮の場所構成を、当時の詩歌であ る「修学院八景詩歌」「修学院十境詩」の解読を通 して明らかにした。『修学院御幸記』所収の図版を 手がかりとして、修学院離宮が上離宮の浴竜池を中 心に構成されていたことの知見を得た。また計26 首の詠歌は修学院離宮に後水尾院の実存を反映させ ており、その意味で広義の「制作者」として後水尾 院が位置づけられた。
8. 修学院離宮における御幸様式の変 遷と場所構成について 「(査読付)」	単	2007年11月	日本建築学会計画系論 文集、第621号、pp. 21 5-222、日本建築学会	日本建築学会論文集。修学院離宮は、近世期を通じ て後水尾院、霊元院、光格院と3人の上皇に営まれ 、使用された。本稿ではそれら3人の上皇による修 学院御幸を全数調査し、日時、離宮内における順路 、遊興の内容等について比較検討を行った。その中 で離宮の中心施設ともいえる建築が止々斎から隣雲 亭へと移行し、その遊興の内容も建築に即しての変 化が見られた、また修学院離宮の特徴でもある上下 の構成は、遊興の二重構造として理解された。
9. 霊元院の修学院離宮御幸と後水尾 院追想の場所：『霊元院法皇御 幸宸記』の解読を通して 「(査読 付)」	単	2007年01月	日本建築学会計画系論 文集、第611号、pp. 23 1-236、日本建築学会	日本建築学会論文集。修学院離宮は史学的にその設 計者は不明である。しかし一般的には後水尾院作と され、そこには狭義の設計者ではない「制作者」と して後水尾院が理解される。本稿ではそうした背景 を解明する手がかりとして、後水尾院の皇子である 霊元院の御幸記を史料として、霊元院御幸において 後水尾院がいかなる様態をもって実存したかを明ら かにした。御幸中霊元院は悉く後水尾院を想起して おり、「跡做う」という態度を確認した。
10. 修学院離宮における「離宮」の場 所についての一考察：『霊元院 法皇御幸宸記』の解読を通して 「(査読付)」	共	2006年03月	日本建築学会計画系論 文集、第601号、pp. 21 7-224、日本建築学会	日本建築学会論文集。離宮の語義は「離宮」であ り、上皇あるいは天皇によって営まれた別荘である 。本稿はその語に含まれたく離宮？上皇？御幸？と いう不可分な関係の一端を明らかにする意図を持つ 。修学院離宮は霊元院による度々の御幸を受け入れ たがその御幸記の解読を研究の方法とした。霊元院 は御幸に際して兼好法師の歌集に共感し、現地では 遠見やその他によって「憂世の外」「都に遠き」と その場所の様態を示した。本稿ではその意味を考察 した。田中明、前田忠直
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 修学院御幸と<日常>の反省 - 建築における相伝の風景-	単	2014年10月1 8日	金沢大学サテライトブ ラザ	北陸宗教文化学会第21回学術大会シンポジウム「 「住む」ことをめぐって-思想・民族・建築から考え る-」パネリスト
2. 修学院離宮における風景成立の過 程について	単	2013年3月10 日	武庫川女子大学甲子園 会館	日本建築学会近畿支部建築論部会主催による講演会
2. 学会発表				
1. 王維「斤竹嶺」詩の場所について	単	2016年08月	日本建築学会学術講演 梗概集、建築歴史・意 匠 2016、日本建築学会	2016年日本建築学会大会（九州）、福岡大学 中国の唐代詩人王維の詩「斤竹嶺」（モウ川集所収 ）を解読し、別業建築における風景を手がかりに場 所の解明を試みる
2. 王維「文杏館」詩の場所について	単	2015年9月6 日	日本建築学会学術講演 梗概集、建築歴史・意 匠 2015、日本建築学会	2015年日本建築学会大会（関東）、東海大学 中国の唐代詩人王維の詩「文杏館」（モウ川集所収 ）を解読し、別業建築における風景を手がかりに場 所の解明を試みる
3. 王維「華子岡」詩の場所について	単	2014年9月12 日	日本建築学会学術講演 梗概集、建築歴史・意 匠 2014、pp. 545-546 、日本建築学会	2014年日本建築学会大会（近畿）、神戸大学 中国の唐代詩人王維の詩「華子岡」（モウ川集所収 ）を解読し、別業建築における風景を手がかりに場 所の解明を試みる
4. 「山の辺の道」における三輪山の 景観構成の特質について	共	2014年9月12 日	日本建築学会学術講演 梗概集、都市計画 2014 、pp. 517-518、日本 建築学会	2014年日本建築学会大会（近畿）、神戸大学 奈良の古道である山の辺の道に関するテキストを分 析し、三輪山の景観構成について一考察を行った。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
5. 王維「孟城オウ」詩の場所について	単	2013年8月30日	日本建築学会学術講演梗概集、F-2、建築・歴史意匠 2013、pp. 541-542、日本建築学会	2013年日本建築学会大会（北海道）、北海道大学中国の唐代詩人王維の詩「孟城オウ」（モウ川集所収）を解説し、別業建築における風景を手がかりに場所の解明を試みる
6. 王維のモウ川別業における風景の諸相について	単	2012年9月	日本建築学会学術講演梗概集、F-2、建築・歴史意匠 2012、pp. 839-840、pp.425-426、日本建築学会	2012年日本建築学会大会（中部）、名古屋大学日本建築学会大会講演梗概集。盛唐の詩人王維が営んだモウ川別業について、既往論考の整理によって、その風景がいかなる思想的背景に裏づけられていたかを検証した。仏教徒である王維による傍観者不在の風景は、「人間不在であっても生命は充溢する」という思想を体現していたと考えられた。合目的性を旨とする近代以降の建築において、王維などによって示される人間以前の風景は可能であるか、その反省の契機となることを本稿の目的とした。
7. 離宮の山と後水尾院の相伝：修学院離宮なる場所の研究6	単	2009年8月	日本建築学会学術講演梗概集、F-2、建築・歴史意匠 2009、pp. 679-680、日本建築学会	2009年日本建築学会大会（東北）、東北学院大学日本建築学会大会公演梗概集。修学院離宮経営に関して後水尾院自身による史料が十分でない史学的状況において、彼の政治的、文化的背景を考察することで、離宮制作意図を推論することを内容とする。特に院における有職故実の継承や古今伝授などの事実を検証し、院の次世代にあたる霊元院の認識における「相伝」を解釈する。論は『禁中並公家諸法度』の内容を院が積極的に解したと考察し、離宮を含めて朝廷文化の再興を善しとしたものと結論する。
8. 坂倉準三の住宅作品の特質と「建築精神」	共	2009年8月	日本建築学会学術講演梗概集、F-2、建築歴史・意匠	寺田和彦、朽木順綱、田路貴浩
9. 修学院離宮十境詩にむく構成について：修学院離宮なる場所の研究5	単	2008年9月	日本建築学会学術講演梗概集、F-2、建築歴史・意匠	2008年日本建築学会大会（中国）、広島大学日本建築学会大会公演梗概集。史学的考察が十分とはいえない造営当時の修学院離宮の状況について、虎林中虔による『修学院十境詩』（国立公文書館蔵『修学院離宮十題』）の解説を通してその一端を明らかにする。十境詩は離宮内の建築を境地とし、十題をもって詠詩がされている。十詩中「月」が全体を統べるが、浴竜池における月はそれ自体として意味がなく、院の天顔を照らすモチーフであり、それによって太虚の水面に院の実存を映すとされた。
10. 『修学院八景詩歌』の場所構成：修学院離宮なる場所の研究4	単	2008年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集、計画系(48)、pp. 829-832、日本建築学会	日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校 日本建築学会近畿支部における研究報告集。『修学院八景詩歌』を手がかりに修学院離宮造営当初の場所構成を考察した。『八景』は離宮の造営者とされる後水尾院が編纂に参画した8首の和歌と8首の漢詩による詩歌集。各詠題は「瀟湘八景」に由来し、またその内容も実景の記述ではないがため従来の研究では理想化された虚の風景とされてきた。しかしながら本稿での解説により、それが意図された古典の引用であると結論し、さらにはその場所構成を浴竜池を中心とした円環構造として理解した。
11. 修学院離宮における光格院の御幸様式について：修学院離宮なる場所の研究3	単	2007年9月	日本建築学会学術講演梗概集、F-2、建築・歴史意匠 2007、pp. 839-840、日本建築学会	2008年日本建築学会大会（九州）、福岡大学日本建築学会大会公演梗概集。修学院離宮への御幸において従来ほとんど検証されてこなかった光格上皇について、その御幸の日時、行程、遊興の内容について検証した。上皇の御幸の特徴としてその季節と回数がきわめて限定されていること、歌会と楽会が必ず催されていることなどが挙げられた。御幸の規模は後水尾院時、霊元院時に比べて巨大であったが、その遊興と客の内容から判断して、総じて私的な特性を持っていたと考えられる。
12. 離宮において景を「見る」ことの諸相について：明正院下屋敷河原離宮を事例として	単	2006年9月	日本建築学会学術講演梗概集、F-2、建築・歴史意匠 2006、pp. 471-472、日本建築学会	2008年日本建築学会大会（関東）、神奈川大学日本建築学会大会公演梗概集。現存しないため知られてこなかった近世期離宮建築である河原離宮について、その遊興における「見る」行為が離宮の場所としていかなる経験であり得るかを考察した。明正院の遊興は六条河原院を模した風景の再現や、模擬店の見物、庶民の生活行為の再現、百万遍への参詣行列の見物など多岐にわたる。しかしながら「見る」という行為に関すればそれらはあくまでも日常の平静を目的とした非日常の獲得に主眼が置かれていた。
13. 『霊元院法皇御幸宸記』における後水尾院の修学院離宮について：修学院離宮なる場所の研究2	単	2005年9月	日本建築学会学術講演梗概集、F-2、建築・歴史意匠 2005、pp. 569-570、日本建築学会	2008年日本建築学会大会（近畿）、近畿大学日本建築学会大会公演梗概集。霊元院に著された修学院離宮への御幸記において、その父である後水尾院がいかに記述され、修学院離宮とどのような関係をもっていたかについて考察する。史料によると院は離宮を後水尾院によって示された「道標」として捉えており、院は「跡做う」という態度によって応えていた。すなわち院による離宮御幸は単なる物見

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
14. 『靈元院法皇御幸宸記』に見る修学院離宮の「離」についての一考察	単	2005年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集、計画系(45)、pp. 897-900、日本建築学会	遊山ではなく、尊敬する後水尾院の積極的な追体験として認識されていた。 日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校 日本建築学会近畿支部における研究報告集。修学院離宮の建築を靈元院の御幸記の記述によってその遊興や行為、印象や感情といった具体的経験から考察することを目的とする。院にとって離宮御幸は憂いた心を慰める速き山として認識し、山から都を眺めることは都を故郷として省みる経験だった。表題に示した「離宮の「離」」とは院にとって心の通れを保つ「離れ」出会ったと同時に日常を省みるために必要な「離れ」であった。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. 「生誕100周年記念建築作品展増田友也」	共	2015年10月-12月	増田友也生誕100周年記念事業会、京都工芸繊維大学美術工芸資料館	京都工芸繊維大学美術工芸資料館で行われた建築作品展における模型（鳴門市桑島幼稚園）の制作。
2. 東豊中の家	共	2013年4月-2015年12月	大阪府豊中市	個人住宅の基本計画
3. 那須の別荘	共	2009年4月-2010年12月	栃木県那須町	栃木県那須町の別荘建築の設計
4. TS社本社屋	共	2007年4月-6月	茨城県稲敷郡	茨城県稲敷郡の半導体洗浄機メーカー本社屋の基本設計
5. 第22回学生建築設計優秀作品展	共	1999年5月20日-23日	お茶の水スクエア『アートブラザ』	卒業設計優秀作品展への出展
6. 「乗り換え」を行う公園	共	1998年2月	新建築1998年2月号 p. 247	東京ガス主催第11回環境デザインコンペティション受賞作品の掲載（松本陸月と共同）
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 『日本風景史』出版記念シンポジウム	共	2015年7月12日	風景史研究会	京都大学百周年時計台記念館において『日本風景史』の出版を記念して行われたシンポジウム「京のヴィジョンをめぐって」での研究報告
2. 建築論研究会における研究発表	単	2015年3月7日	建築論研究会	「修学院離宮の創設について」と題し京都大学において研究発表を行った
3. トルコ文化研究センター大工道具展示室パンフレット	共	2014年4月	武庫川女子大学トルコ文化センター	武庫川女子大学トルコ文化センター大工道具展示室全資料を記載したパンフレットの編集
4. 武庫川女子大学トルコ文化研究センター・シルクロード建築文化展示室・大工道具展示室整備	共	2011年10月	トルコ文化研究センター・シルクロード	トルコ文化研究センター・シルクロード建築文化展示室開所に際し、既存の大工道具展示室を学的に裏付けられた類型に基づき再整備を行った。
5. 風景史研究会における研究発表	単	2009年1月24日	風景史研究会	「修学院離宮創設の風景」と題し東京藝術大学において研究発表を行った
6. 風景史研究会における研究発表	単	2008年10月1日	風景史研究会	「修学院御幸の風景について」と題し東京工業大学において研究発表を行った
7. 藤井博巳建築展シンポジウム	共	2004年4月23日	日本建築学会建築会館	藤井博巳展覧会シンポジウムの企画（植田実氏、藤井博巳氏、八束はじめ氏による討論会）
8. 藤井博巳建築展	共	2004年4月23日-28日	日本建築学会建築会館ギャラリー	実行委員会を組織し、建築家藤井博巳氏の展覧会を企画、運営
9. 「福山ゆかりの現代建築家展」	共	2004年1月16日-26日	ふくやま美術館	ふくやま美術館における建築家展において展示パネル制作
10. 第22回学生建築設計優秀作品展作品集	共	1999年5月	学生建築設計優秀作品展組織委員会	作品記事p. 10
6. 研究費の取得状況				
1. 建築制作論の研究	共	2015年4月	平成27年度科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）独立行政法人日本学術振興会	建築論研究会による共同研究『建築制作論の研究』出版に際する助成
2. 日本風景史	共	2014年4月	平成26年度科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）独立行政法人日本学術振興会	風景史研究会による共同研究『日本風景史』出版に際する助成
3. 日本風景史	共	2014年2月	公益財団法人京都大学教育研究振興財団	風景史研究会による共同研究『日本風景史』出版に際する助成
4. 日本風景史の構築に向けて：環境の表象・創造と風景観の関係	共	2009年4月-2010年3月	2009年度サントリー文化財団研究助成	「サントリー文化財団人文科学、社会科学に関する研究助成」（2009年度）研究テーマ＜日本風景史の構築に向けて：環境の表象・創造と風景観の関係、研究代表者：田路貴浩（京都大学）

学会及び社会における活動等

年月日	事項
-----	----

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2015年7月－現在	日本建築設計学会
2. 2012年6月30日-現在	日本建築学会 近畿支部建築論部会